



議会からのたより

議会の主な動き (令和3年8月～令和3年10月)

- 8月10日
「いなつ久を励ます会」「名刺交換会」に出席のため議長留萌市に出張
- 8月19日
戦没者・功労者追悼式に議長外議員多数出席
- 8月30日
第3回議会運営委員会開催
- 9月13日
総務産業・文教厚生常任委員会合同会議開催
- 9月15日
第5回議会全員協議会開催
- 10月8日
第6回議会報発行特別委員会開催
- 10月26日
第7回議会報発行特別委員会開催

第4回定例会

9月13日から9月16日の4日間を会期として開催し、報告4件、過疎地域持続的発展市町村計画の策定1件、条例改正1件、補正予算3件、各会計歳入歳出決算認定7件、意見案4件、発議1件の合計21件の議案が提案され、原案のとおり可決し、会期を1日残して閉会した。一般質問は、白井議員1名が行った。

行政報告

- ◆ 故星井高雄氏の特別叙勲の決定
- ◆ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況(詳細は次ページ)
- ◆ 令和3年度普通交付税等の決定(詳細は次ページ)

審議事項

- ◆ 過疎地域持続的発展市町村計画の策定
- ◆ 個人情報保護条例の一部改正

主な補正予算

- 【一般会計】
- ◆ 戸籍副本システム全件送信作業契約負担金 26万4千円新規
 - ◆ 敬老会余興等謝礼 90万円削除
 - ◆ オロン地区新規就農者支援対策事業負担金 106万9千円新規
 - ◆ 麦・大豆受託作業機械導入事業補助金 2,340万円新規
 - ◆ 景気浮揚経済活性化対策事業補助金 300万円増

報告

- ◆ 専決処分の報告(遠別中学校草刈り作業時における物損事故の和解)
- ◆ 令和2年度健全化判断比率の報告
- ◆ 令和2年度資金不足比率の報告
- ◆ 教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書(令和2年度対象)



- 【簡易水道特別会計】
- ◆ 北里地区配水管布設替測量調査業務委託料 130万円新規
 - ◆ 北里地区配水管布設替実施設計業務委託料 270万円新規

意見案

◆保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書

提出者 山本議員
賛成者 木村議員、白井議員

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 小森議員
賛成者 柏谷議員、山本議員

◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書

提出者 小森議員
賛成者 柏谷議員、山本議員

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 小森議員
賛成者 柏谷議員、山本議員

意見案は9月15日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。



町長からの行政報告（抜粋）



新型コロナウイルスの接種状況について

本町の新型コロナウイルスワクチンの接種状況につきましては、9月6日現在の町内全体の対象者2,325名のうち、2回の接種を終えた方につきましては、1,837名であり、接種率は79・0%となっております。このうち優先されます65歳以上の高齢者につきましては、7月末までに希望者全員の2回の接種を完了し、接種率は91・6%となっております。

また、12歳から64歳までの方につきましては、2回の接種を終えた方の接種率は68・4%となっております。現在実施しております町内でのワクチン接種につきましては、10月7日を

もって町内の接種希望者の2回の接種が終わり、接種率として約90%の見込みとなっております。

なお、これ以降の接種希望者への対応につきましては、今後、北海道の方針に基づき、振興局単位で接種方法の詳細について調整されると聞いております。



令和3年度普通交付税等の決定について

本年度の普通交付税は、全国ベースで5・1%の増加、全道ベースでは4・4%の増加となっております。本町において

は23億1,764万3千円が交付決定となり、地域デジタル社会推進費の創設や消防費及び地域振興費の算定見直しに伴い、昨年度より1億3,890万5千円、6・4%の増となりました。臨時財政対策債は、8,594万3千円が発行可能額となり、普通交付税と臨時財政対策債を合わせて、24億358万6千円となります。令和3年度当初予算と比較をいたしますと、普通交付税は、3億3,764万3千円の増額、臨時財政対策債は、5,405万7千円の減額で、合わせて2億8,358万6千円の増額となっております。普通交付税は、国の地方財政計画に基づいて算出されており、令和2年度と比較して増額となりましたが、将来的な事業を見据え、各種基金への積立て、さらには経常経費の削減や効率的な行政運営に努めてまいりたいと考えております。

白井議員 **問** 行政が働く場を確保するために施策を講じることはできないか。

笹川町長 **答** 現状の施策を着実に実行し、施策内容の充実に努める。

町政を問う

第4回定例会「一般質問」



問 本町は、少子高齢化が進み、対策を講じているが、人口流出に歯止めがかからない状況である。また、若い人が職を求めて町外に流出しており、企業誘致もままならないところである。近隣市町村への購買力の流出も見られ、それにより、町内の商店等も減少し、人口流出に繋がっている。そこで、働く場を作るといった視線に立ち、行政が働く場を確保するために施策を講じることはできないか、町長に伺う。

答 全国的にも少子高齢化が進む中で、都市部への人口流出等の影響による人口減少は、留萌管内、また、本町においても同様の状況であると認識をし

ているところである。このような状況の中、働く場の確保として、農業、漁業の一次産業、また建設業など雇用の場はあるものの、人材確保に苦慮している状況と伺っている。

本町の雇用確保の施策として、一次産業である農業については、担い手確保のため、国の農業次世代人材投資事業の活用やオロロン地区農業担い手確保対策協議会において、新規就農者支援事業に取り組んでいる。漁業関係においては、道及び漁協と連携し、漁業就業支援フェアへ参加し、実習生を受け入れるなど継続的に担い手確保に取り組んでいる。また、商工関係では、遠別町起業化支援事業による新規開業へ向けた支援、商工会と連携した地元事業者の活性化や事業継続化に向けた取り組み、町の指定管理者に対し地元雇用の要請も行っている。

以上の施策を進めており、現状では新たな取り組みは考えていないが、引き続き現状の施策

を着実に実行し、施策内容の充実に努め、商工会をはじめ、各団体、関係法人との連携を図り、共に働く場の確保に向け進めていきたいと考えている。

再質問

問 今までの施策では十分な効果がでていない。町民とコミュニケーションを図り、その意見を少しでも取り上げ、官民一体となって働く場について、なお一層、努力する必要があると思うが、町長の考えは。

答 対策としては十分ではないという中で、町民とのコミュニケーションを図れという質問だが、私どもも決して十分だとは思っていない。そういった中で、私は町長に就任以来、年数は空けながら町民との住民懇談会等を実施してきた。さらには、町内の起業化支援事業補助金等を通じて起業化の意欲を盛り上げるように努力をしてきているという状況をご理解

いただきたい。また、過去に遡るが、遠別町には工業誘致奨励条例や、これが昭和30年に、31年にも工業誘致奨励条例施行規則等が制定されており、受け皿としてはないわけではないが、そういったことが今の状況ではなかなか合致しづらいものもあるということも考えられ、これらのことについて見直しも考えていかなければいけない。

また、日頃から町民との対話に意を注ぎながら行政を進めてきていると私は考えている。さらに、コミュニケーションを取るということについて、職員共々考えて進めていきたいと思っております。いろいろな形でご意見を伺いたいと思う。ご協力を賜るようお願い申し上げます。



【一般会計（歳出）】

―総務費―

生活支援助成券交付事業

問 町民に配付したが、使用率は。

答 2,595人に対して交付し、利用率としては、98・6%となっている。

―農林水産業費―

有害鳥獣の駆除

問 罾をかけて行うのか。熊の場合には撃つのか、罾をかけているのか。依頼されてからの出動となるのか。見回りは行っているか。

答 基本的に見回りは猟友会で鹿の駆除等も、常時、通年行っている。見回り対応はできている。熊の関係は、町民ほかの情報を踏まえ、担当課でも回っている。近傍でいたなどの情報があれば許可を出した前提だが、対処をしたり、撃てな

いところであれば、目撃情報をもとに定点カメラを設置しつつ、箱罾でも許可を得たうえで設置、捕獲の準備をしている。



久光に設置した罾に近づくヒグマ

【一般会計（歳入）】

固定資産税の納税

問 固定資産税の関係で不納欠損額と収入未済額が示されているが、人数は。

答 不納欠損は、42万4千9百円で、3人。未納は、70万3千円で、5人。

問 納税は国民の義務だが、どうしても払えない方、請求

しても払えなかったのだと思うが、未済額については、徴税請求しておかなければいけないと考えるが、今後の手立てや考えは。

答 今回、不納欠損で落とした方は、財産を持つているか、預金残高はどうなのか調査をかけ、どうしても押さえられるような財産が無いというところで、執行停止をかけて、期間が経過したことで不納欠損にした。税に関しては、税負担の公平の原則があるので、それに努めながら今後も努力したい。

【国保病院事業会計】

簡易陰圧装置の使用と管理方法

問 簡易陰圧装置2台は、新型コロナウイルスの関係で導入したと思うが、これは、令和3年3月までに使用されたか。

答 簡易陰圧装置は、2台購入し、1台は病室に設置

し、コロナ等にかかって市立病院等から戻ってきた患者用に、外来で発熱で来られて検査した結果、陽性等になった場合に使用するということで、発熱外来として使用しているところに1台設置しているが、1回も使用していない。

再質問

問 そういう症例がなく使用しないのが一番よいと思うが、清潔を保つ・菌の侵入を防ぐという意味で、管理はどうしているか。

答 設置している箇所については、日々、清掃業務で清掃し、看護師も毎日出入りしている。日常の管理の中できれいな状況を保ちながら、いつでも使える状況であることを確認している。



シリーズ えんべつ町民 独占インタビュー Vol.9

◎遠別町の住民をピックアップし、まちの印象や、行政、議会に対するの思いなどをインタビューし、議会活動に役立ていきます。

北留萌消防組合遠別町消防団の女性団員の方にインタビューさせていただきました。

Q. 主な活動は？

パンフレット等の配付など火災予防運動や啓蒙活動が主な活動で、機器点検も行っています。夜間訓練は毎月行っていますが、新型コロナウイルス感染症のため今年は少なくなっています。



写真左から順に、堀あゆみ団員、山本貴子団員、小林由美子団員、バーカー朝美団員。

※松田美保団員は当日欠席。

Q. 女性消防団員発足のきっかけは？

以前から遠別町に女性消防団があったらいいなと思っていましたが、高橋豊前団長の強い意思を継いで女性消防団を作りたいと思い、発足に向けて活動を始めました。

Q. 入団のきっかけは？

- ・中学生のときに実家が火事になり、消防士さんのありがたさや、火の不始末の怖さを知りました。その経験を生かして町内の火災予防のために何かお手伝いできればと思い、消防団に参加しました。
- ・実家が仙台で、家族が東日本大震災時に被災し、防災について関心がありました。



出初め式の際の活動写真

Q. 今後の活動目標は？

- ・火災予防を喚起しながら高齢者の安否を確認していきたい。
- ・防災関係の資格を取得し、消防団活動に役立てたい。
- ・キラリの子どもたちに紙芝居などで楽しませながら、防火教室をしていきたい。



新消防団員入団時の様子

取材を終えて

今回取材し、改めて消防団というのは町民の命と財産を守るという上でも、とても大切な存在であると感じました。

取材当日、新たに消防団に1名の方が入団する場に立ち会うことができました。現在、消防団員は男性・女性を問わず足りていないと言っていました。興味を持たれている方がおりましたら、ぜひ入団いただきたいと思います。

また、これからの季節、ストーブを利用する機会も増えますので、火の元に十分ご注意願います。

議員出席状況

令和3年8月1日～令和3年10月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等				特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤								
	開催 日 数 ①	出席内容			出席 日 数 計 ②	欠席内容			総務 産業 1 ③	文教 厚生 1 ③	議 会 運 営 1 ③	全 員 協 議 会 1 ③	議 会 報 発 行 2 ④	決 算 審 査 1 ④	予 算 審 査 ④	開 催 日 数 合 計 ①+ ③ ⑤		出 席 日 数 合 計 ②+ ④ ⑥	欠 席 日 数 合 計						
		全 日 出 席	遅 刻	早 退		慶 弔	病 欠	そ の 他												出席内容			欠席内容		
																				全 日 出 席 ④	遅 刻	早 退	慶 弔	病 欠	そ の 他
西畑 広男	2	2			2				4	4			4			6	6		100.0%						
小森 嘉孝	2	2			2				6	6			6			8	8		100.0%						
白井 金治	2	2			2				5	5			5			7	7		100.0%						
柏谷 美春	2	2			2				4	4			4			6	6		100.0%						
木村 秀雄	2	2			2				3	3			3			5	5		100.0%						
千葉 光悦	2	2			2				3	3			3			5	5		100.0%						
大石 幸夫	2	2			2				3	3			3			5	5		100.0%						
山下 悟	2	2			2				5	5			5			7	7		100.0%						
山本 仁美	2	2			2				4	4			4			6	6		100.0%						

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**12月10日頃**の開催予定です。

【お問い合わせ】
議会事務局
電話 7-2147 (直通)
メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp

詳しくはテレビ電話でご確認ください。



タイトル写真



9月22日、インタビュー実施の際に撮影いたしました。

発行：遠別町議会
編集：議会報発行特別委員会
委員長 小森 嘉孝
副委員長 山下 悟
委員 白井 金治

あとがき (小森委員長)

地球温暖化予測を1967年に発表し、現在まで研究を進めてきた真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞を受賞した。

今、地球は温室効果ガス、二酸化炭素(CO₂)を排出し続けて、このままCO₂濃度の増加が進めば地球の大気温度が上昇する、すなわち地球温暖化現象である。

我が町も、年々真夏日や猛暑日・少雨と、今まで記憶にない気候状況であり、農作物にも干ばつ被害が発生した。国は2050年カーボンニュートラルの実現を目指している。私たちも、CO₂排出ゼロに向かって、進む時が来たと感じている。